

今後の農政について理解を深めよう
農業確立代表者集会

J Aあきた白神では今後の農政活動に向け、12月6日に能代山本広域交流センターで、農業確立代表者集会を開催しました。

多くの生産者が参加した同会では、J Aからカントリーエレベーターの進捗状況や、T P Pを含めた新たな農業政策への対応などを報告。また、「食とくらし、いのちを守る農政活動」について、集会決議が行われました。

その後、雑誌「A E R A」編集長の尾木和晴さんを講師に、『T P P後の日本と農業』について特別講演が行われ、生産者からは、様々な意見や質問が出され、今後の農政の課題や対応について理解を深めました。



▲ TPP について講演を行う尾木和晴さん

更なる産地拡大に向けて協議
りんどう実績検討会



▲ 平成 23 年度の実績について報告する担当者

あきた白神りんどう生産組合（菊地昇一組合長）は11月24日、平成23年度のりんどう出荷販売実績や市場情勢、また今後の産地拡大に向けた課題について話し合う、りんどう出荷実績検討会を、藤里町の藤見屋で行いました。

はじめに藤里町役場の小山博課長が「多くの人の協力により、2年目ながら白神りんどうは市場でも高評価を得ている。今後も藤里町では、白神りんどうを特産品とすべく、共に取り組んでいきたい」と挨拶。その後、平成23年度の出荷・販売実績の報告が行われたほか、市場関係者からは産地拡大に向けた期待の声寄せられました。

白神和牛の品質の高さを証明
秋田牛枝肉共励会

秋田牛枝肉共励会が12月4日、秋田県食肉流通公社で開催され、全県から畜産農家自慢の78頭が集まり、当J Aからは白神和牛4頭を出陳しました。

共励会では、脂肪の入り方や肉色、それぞれの部位の面積などを審査して優劣を競いあいました。審査の結果、白神和牛4頭はすべてA4ランク以上で、うち2頭は最高ランクのA5を獲得。審査員からも「白神産牛肉は肉質が良く、全体的にレベルが高い。」と高評価を受けました。

またその中から、佐々木忠義さん（藤里町室岱）の枝肉が、昨年に引き続き優秀賞に輝くなど、白神和牛の質の高さが改めて証明されました。



▲ 息子の受賞を喜ぶ母親のカヨさん

今後の栽培管理と出荷規格を確認
促成アスパラガス目揃会



▲ 部会での出荷規格の統一が図られた

J Aアスパラガス部会は12月15日、今後の栽培や出荷規格などを確認するため、シャトー赤坂で促成アスパラガス目揃会を開催しました。

目揃会には生産者とJ A担当者、東京荏原青果などの市場関係者ら約15名が参加。はじめに山谷清英部会長から「今年は全体的に株の充実がやや低かったが、温度管理や水管理を適性に行い、より多くの収量を得られるよう頑張ってください」と挨拶しました。

その後、J A担当者から生育概況や出荷規格について説明。生産者は担当者や意見交換しつつ、収穫・出荷に向けた確認をしました。

